

参考資料3

包装の環境配慮(ISO/JIS)概要

1 包装の環境配慮に係る ISO/JIS 規格

・2003年1月に、欧州規格をベースに、ISOは包装と環境に係る規格(ISO18601～18606)及びTR16218, TR17098を発行いたしました。日本においては、2015年5月に、ISO規格に相応するJISZ01301～3が発行され、他のJISは2015年度中に発行予定です。

ISO規格	JIS	内容
ISO 18601	JIS Z 0130-1	一般的要求事項(評価手順と個別規格間の相互関係)
ISO 18602	JIS Z 0130-2	包装システムの最適化(包装の環境負荷最小化)
ISO 18603	JIS Z 0130-3	リユース
ISO 18604	JIS Z 0130-4	マテリアルリサイクル
ISO 18605	JIS Z 0130-5	エネルギー回収
ISO 18606	JIS Z 0130-6	有機的リサイクル
TR16218	JIS Z 0130-4 付属書JA	ケミカルリサイクルプロセス
TR17098	JIS Z 0130-4 付属書JB	リサイクルの障害となる物質及び材料に関する報告

* JIS Z 0130-4,5,6, TR16218,17098 は,2015年度中に発行予定。

・ISO規格及びJISは、個々の包装を基本的に対象とするもので、分別排出・収集、リユース、リサイクル等の社会的システムを前提とし、個々の包装が環境に配慮していることを宣言するための必要な手順と要求事項を整理したものです。

2 包装の環境配慮に係る ISO/JIS 規格に基づく評価手順

まず評価の出発点として JIS Z 0130-2「包装システムの最適化」では包装の環境負荷が最小化されていることを評価します。リユースする包装の場合、JIS Z 0130-3「リユース」で規定している要求事項を評価します。次いで全ての包装は JIS Z 0130-4「マテリアルリサイクル」、JIS Z 0130-5「エネルギー回収」、又は JIS Z 0130-6「有機的リサイクル」のうちの少なくとも一つの要求事項を満たしていることを評価します。(図参照)

